

刊夕8二十月五

常磐毎日新聞

定価 一月五拾圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 廣告料 五號十二字 第一行 五拾圓
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

こゝに永生あり

真織 雲山

たゞ一つこゝに永生の道あり、その道とは分らぬやうで分つてゐる問題で、それが何うしても分らぬゆゑ悟りが開けかねるといふ問題である。

それは別儀でなく、夢を見てゐるときには明らかに自分と、自分でない相手即ち對境との對立がある、この二者あつて夢は成立するのである。そしてその相手にあらざる主人公を自分なりと心得てゐるのであるが、焉んぞ知らん、自分も相手も、二者ともに寝てゐる當人がつくり出してゐるのであるのれ也と思ふてゐる夢中の主人公は、實は本統の主人公ではなく、本統の主人公は大の字なりになつて寢てゐるのである、夢中にかみ合ひをして活躍してゐる、假りの主人公は何んとしても寢てゐる眞の主人公を意識することを得ぬ、それを意識したときは、夢の破壊であり夢から覺めたときである。

三界唯一心といひ、一切唯心造といふも亦た復た斯くの如し。われ／＼はこれが自分の本心なりと心得て日夕名利の巻に奔馳してゐるのであるが、焉んぞ知ら

んこれは煩惱を地體とする妄念をつくり出すところの寢てゐる主人公の本心が別に存してゐるのである。その本心に催はされつくり出されて見聞覺知を生じ三界は現前してゐるのである。その眞實の本心を唯一心といふたので、これを眞如とも、如來藏とも、阿頼耶識ともいふのである。

一心すでにあり、この故に縁に従ふて妄心生じ前境は現はるゝのである。五尺の身心は一心の化作するところ、人生五十年は一心の現はれである。これを經には「從如來生」といへり、眞如より來り生ずるの意である。

その一心とは何ぞや、曰く言ひ難しで、夢の中に夢中に躍れる主人公が寢てゐる主人公を意識し難いひとしく、而かも人壽滅すとも一心は滅せず、見ることを得ずといへども一心

酒の汚點はすぐなれば煙草の煙をふきかけておくとあとが残らない。

ノート

は在り、一心なくんば前境あり得ざることを、猶ほ寢てゐる主人公なくば夢中の葛藤あり得ざるが如し。禪に本來の面目といふは

この一心に徹見せんとしたのであり、淨土門に如來の本願といふはこの一心のほたらきに觸れることを指したのである。而かも一心の何者たるかにいたりては畢竟して離言絶慮。この故に禪は不立文字といひ、念佛

二明日の献立

- 【朝】すまし汁―あさり
- 【晝】ふくめ煮―焼き豆腐 椎たけ
- 【晚】さしみ―霜ふりいか 鹽さより 小口きうり わさび醬油

門は南無阿彌陀佛といふてその一心に讚嘆歸依するのである。

五尺にして五十年の肉筆を我れ也と思ふたときに滅亡があり、我れをつくり出してゐて下さる親様の一心をこそ、我れなりと知つたときに永生があるであらう。これは是れ想像や作り話でなく、現身の我れが現に斯く夢中に躍つてゐる以上その根本にこれを化作するところの(寢てゐる)眞の主人公あるべきは言はずして明らかである。

市原醫院

平町 田町 電話 一一四番

外科 小兒科 内科

醫學博士 渡部 義夫
 女 醫 渡部 きい子
 入院應需 渡部 外科

平町田町大通り(電話二七七番)



玉屋洋品店
 平町田町通電話五六六番

小兒科 内科

特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。

平町 ねずみ坂

隨意留 渡邊 醫院
 電話 一六一番

男女安全豫防藥

新發賣 志のぶ錠

しのぶ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇〇の外ニシケ、子宮、内膜炎、陰加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事で即ち〇〇〇の豫防と治療の二重奏をなします。

阿康藥舖

平古鍛冶町(電話四四番)

七五八

魚食部
 電話 五三三番

春のトレンドコート	7.50ヨリ
春のバアバリー	3.00ヨリ
春の正札堂特製トンビ	8.50ヨリ 18.00マデ
春の紺セルネヅミ セル外套	4.50ヨリ
春の三ツ組セビロ	7.50ヨリ

平四丁目停車場通り

正札堂

電四三六番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話 五二三番

内科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

貧困兒童の保護救済に

學校當局が奔走

受救兒童は僅かに七十余名

平町各小學校にては既報の如く去る五日より町當局の照會に依り四千名の兒童に付き各係訓導が家庭訪問をなし特に保護を要する

兒童を 調査した處其の結果は家庭貧困なる爲め實に同情に價する兒童は昨年より幾分減少して居るが約七十余名ある事が判明此の内本年度四月入學の尋常一年生にも多少ある見込みで救済工事等があつたとは言ひ相變らず世は如何に

不景氣 であるかを如實に物語つてゐる是等兒童

家庭の多くはいづれも其の日暮しの日雇業、行商人、人夫、車夫等が大部分で中は街頭に笛吹く按摩さん、河原に働く砂利採取人夫或は職がない爲め苦しんで居る勞働者等もある然し欠食兒童は一名もなく校長初め職員及び

保護者 會にては此の惠まれざる兒童救済の爲めに町當局と連絡をとり全力を擧げて兒童學用品は勿論高等科兒童の授業料其他必要ある場合はつとめて保護救済をなすとの事である

レンゲの施肥も誤れば害を招く

石城郡農會で注意書配布

注意書を近く發すると

石城郡農會では田植期も近づいたので一般農家に對して本田の施肥に付き注意指導して居るが近年盛に使用されて居る紫雲英の施用法に就て一步誤ると稻熱病の發生に依り收穫上に大損害を招くおそれあるのは是が對策として施肥量の多過ぎる時期を早める事土用入頃排水する事等の三項の

桑園指導員

農林技手に昇格

石城郡下各町村に駐在されて居た桑園改良指導員は八年度より縣農林技手に昇格される事になつたが郡下の該當者は左の如くである

泉石垣理之助 箕輪綿織

共販一向に振はず

成績は極めて不良

石城販賣利用組合平農業者の共同販賣は昨十一月同日所にて開かれ勿來農會より依託された五等米十二、等外八十八計百俵は四等建値七圓九十五錢を以つて平

町の久保木林之助氏に落札尙ほ同倉庫の五等十二、等外十二計二十俵は建値八圓十二錢を以つて平町丹野彦太郎氏に落札されたのでいづれも稍不成績であつたと

平窪の農繁託兒所

村内三ヶ所に開設

石城郡平窪村では本年度の農繁託兒所を同村小學校及び中鹽分教場、上平窪觀音寺の三ヶ所に設け來月十六日より十日間開設される事になつたが一日の收容兒童數は二百八十名であると

卓球リーグ戦

十四日から開始

石城郡卓球協會主催の卓球リーグ戦は來る十四日午前十時より常磐銀行樓上に於て開會されるので目下郡下の強豪チームはいづれも猛練習中であるが現在迄の参加チームは左の如くである

常磐銀行 平稅務署 營

警城對日立

陸上競技開催

石城郡内郷村警城炭礦陸上競技部では來る廿五日同礦金坂グラウンドに日立鑛山競技部を迎へ兩實業チームの爭覇戦を行ふと

夏井校の奉安庫

石城郡夏井小學校では今回同校庭に工費千餘圓を以つて御眞影奉安庫を設置すべく目下許可申請中である

平商對磐中

野球試合中止

平商業學校野球部にては本日磐中野球部を迎へ過般平商友會より寄贈された固定ネット開きを兼ね一戦を交へる筈の處當の固定ネットは未だ竣工せず何時竣工するかからないので野球試合は中止する事になつたと

平町人事

回出生

△梅香町八七 椎名清司氏
長男 康藏
△堤ノ内二〇 鈴木正吉氏
長男 一正
△搔槌小路三一 當時茨城縣多賀郡日立町宇宮田高橋留五郎氏三男 力之助
△搔槌小路一九 木田重雄
(二五)東京市深川區富

岡町二ノ一七持田マサ (二二)
回死 亡
△長橋町一 小野ヤスエ (四〇)

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町 電一〇七

改稱御知らせ
新藤屋(支店)改め
鐵道省 御指定
遞信省 御指定

旅館 甲陽館
店主 武田 コウ
平町驛前電話一四八番

是非御利用を
營業時間午後九時迄

平町四丁目河岸通り
三井質店
電話六〇六番

五月人形陳列會

◎非常時日本の心意氣
尙武人形
◎品と値で常に祝品界をリードするフクダヤの名作品を御覽下さい。

御座敷飾セット 六圓ヨリ百五十圓迄
武者人形 一圓ヨリ三十圓迄
金太郎人形 五十錢ヨリ十八圓迄
五巾外のぼり 十圓ヨリ四十五圓迄
大鯉のぼり 二圓ヨリ四十八圓迄

二丁目のフクダヤ

昨夜豊簡に漂着した 主な難破船

沖合で出漁中遭難

平署で近縣各濱に照會中

十一日午後九時半頃石城郡豊簡村宇豊間地先海岸に大破した船名不明の小型發動機が漂着したのを附近の漁夫が発見平署から署員が急行取調べたが乗込員の姿は皆目見當らず殊に同船は沖合の漁業に従事した形跡が充分認められるので或は一昨日の暴風雨で沖合で遭難したものでないかと見られ平署では近縣各濱に目下照會中である

早くも四氏が 立候補届提出

愈々運動本格的に入る

期日愈々切迫して来た平町に於ける町議戦は昨十一日の左記四氏の立候補届出と共に今十二日も届出あり愈々戦線は異状を呈して来たが立看板も馬目、櫻井兩候補の逸早く街頭に現れて氣早さを見せてゐる未だ候補の揃はぬ區も一二あるが何れにしても十五日頃迄には決定を見る筈で二十日迄には全部の顔が出揃ひ本格的運動が行はれるであらう

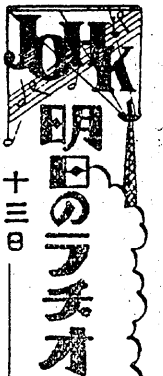
- △馬目雅治(紺屋町)新聞記者
- △櫻井清(白銀町)商業
- △吉田寅之輔(紺屋町)上繪業
- △小野伊佐治(三丁目)質屋

少年轢殺の 公判廿日開廷

古物商の窃盗 石城郡湯本町宇三國古物商戸田好定(三)は本月一日及び十日の兩回に亘つて磐崎村小野田炭礦所有の水道鐵管十本を窃取せる事發覺十一日平署に檢舉された

コソ泥横行矢先 金時計の盗難

石城郡湯本町宇三國居住會社員門脇與太郎方へ十日午後九時頃何者か忍入り時價三十圓の金側時計及び現金三圓餘を窃取逃走した者あり届出により平署で目下犯人嚴探中であるが最近平、



明日のラジオ

今夜は南東の風、曇り明日は南東の風、晴れ曇り相半す

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「南洋」龍寶齋
- 後六、二五 講演「鹽釜築港の發功と東北の振興」山口十一郎
- 後七、三〇 講演「日米親善の促進に就て」法農學博士新渡戸稻造
- 後八、〇〇 放送舞臺劇

明日の部

- 前六、三〇 「基礎ドイツ語講座」(十四)橋本忠夫
- 前九、一〇 料理献立「箱のそぼろ煮」村井多嘉子

横領局員の 公判十八日開廷

昨報石城郡内郷村大字御厩字久世原野菜行商元綴局員太田三郎(三)に對する業務上横領事件の公判は来る十八日午前十時より平支部に於て開廷する事になつた

僅か一ヶ月に 戸籍法違反が百名

この数字は年々増加

平區裁判所去月中に於ける法律不知の爲め法定期間内に戸籍の届出をなさず戸籍法違反として科料一圓乃至五圓に處せられたるものは約百名に及んで居るが其の未納者は二十餘名にて来る二十日頃全部平檢事局に呼出して早速納付する様注意すると

西岡課長調査

來郡中の西岡本縣庶務課長は去る十日江名町漁港に於いて

海軍記念日

平第一小學校にては来る二十七日の海軍記念日當日校長の講演及び陸上運動會を催す事は既報の如くであるが各學年のプログラムは左の如くである

- 前一〇、三〇 家庭講座「米は大切消費は了じく」佐々木信義
- 後〇、〇五 琵琶 薩摩絃風
- 後二、〇〇 家庭大學講座「維新の大業と婦人の力」(八)維新史料編纂管藤井基太郎
- 後二、二〇 野球試合實況「東京大學野球聯盟リーグ戦」明治對慶應 明治神宮外苑球場より中繼
- 後四、一〇 大角力夏場所實況(二日目) 國技館より中繼
- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「ふぐ大名」お伽座
- 後六、二五 ことばの講座「外國語に就て」文學博士市河三喜
- 後七、三〇 講演 小卷千代子
- 後八、二〇 管絃樂 日本放送交響樂團 指揮宮原順次
- 後八、三五 歌謡曲 唄衆八才三三吉 三味鹿の子 丸子外
- 後九、〇〇 連續講談「難波戰記」(終席) 旭堂南陵

- (團體競技)職員七百米リレー 尋四以上學年對抗リレー
- (一年)バスケットボール 遊戲 五十米(二年)綱引
- バスケットボール 五十米(三年)綱引 帽子取
- 百米(四年)帽子取 方形
- ドッチボール 二百米
- (五年)大將帽子取 方形
- ドッチボール 二百米
- (六年)擬馬帽子取 方形
- ドッチボール 二百米

磐城の種痘

石城郡内郷村磐城炭礦では全山従業員の天然痘豫防の種痘を十二日は御殿従業員俱樂部にて十三日は宮澤俱樂部に於いてそれぞれ執行する

磐女生徒の各家庭で

電話のあるのが百七十六名

- △女中 廿五迄 尋卒 月四五圓(植田町某湯屋)
- △農夫 四十以下 尋卒 給料面談(小名濱町某)
- △回職を求める方
- △土工 三十四才 尋三 修 給料面談(内郷村某)
- △鐵工 二十一才 高卒 給料面談(湯本町某)
- △飲食店員 廿九才 尋卒 給料面談(新湯縣某)
- △女中 三十迄 尋卒 給料面談(四倉町某)

紫雲書

【禁轉載上演及映畫】

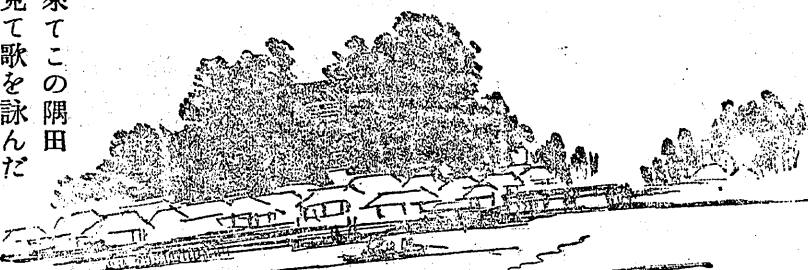
悟道軒圓玉演
近藤紫雲書
上田馬之助

第三百三十六號

待乳山を肴に一盞
上田馬之助は新三郎と一緒に吉原に十日も居たがモウ此里もあきたと幫中の文中を連れて吉原を出た新三郎は佐野槌の二階で女をあつめて双六をして遊んでゐる上田は堀の船宿を右に見てあれから今戸に来て竹屋の渡しを渡つて向島に來た馬『文中冬は雅があつていな』

文『へエ、雅はございますが寒さに閉口します、それに第一世の中が陰氣でございませう』
馬『陰と思ふは大違ひ、静かでない、何うだ北に筑波を見たところはそれに洲の傍に鷗が浮寝をしてゐるところは繪のやうだな』
文『何んだかわたしたちにはその味はよく判りませんが、水に浮いてゐてよくあの鳥は疝氣が起りませぬねわたくしなどは少しでも冷えると腰が痛みましてね鷗は疝氣なんと云ふ病氣はないと見えますね』
馬『馬鹿な事を云ふな、あの雅があつて良いな』
文『旦那、雅があるとはばかり云つてお在なさいませうが何處を見ても花はなした

い風は顔を撫てヒューツと云ふ妙な笑ひ聲を出して枕橋の方へかけて行きます、風ですから追かけて捉へる事も出来ません、失禮千萬顔へ砂を叩けては逃げて行きます、昔業平が京都から



こつちへ来てこの隅田川で鷗を見て歌を詠んださうでございませう、して見ればその頃から隅田川は流れてゐたもので、又鷗もすんでゐたものでございませうね』
馬『さうだな行く水の流れと人の身は判らぬと云ふ

それに相違ないな』
文『何だかそんな事を聞くと心細くなりますね、この間も四谷の石井の旦那から聞きましたが、元江戸は原であつたさうで武蔵野と云つて三十里四方に山のねいところをそれに逃げ水といふものあつたさうです、ねチヨウ／＼水が流れてゐますからこの水は何處から出て何處へ落ちるかとのれを調べた人があつたさうでございませう、遂々その行先を見定める事が出来なかつたさうで、その大きな原が京都會になつたのですから不思議

議でございませうね、逃げ水を退ひつ巻りつ藏を建てと云ふ川柳もございませう、草むらに立派な家が出来て土蔵が建つとはこれはお釋迦様でも知らないことだと思ひます、時に旦那只この土手をブラ／＼北に向つて歩いて寒い風にさ

らされるは有難くない事ですから何う云ふ事になりますか』
馬『まあモウ少し歩いて見な』
文『へエそれは何處までもお供はいたしますがこの土手を真直に行けば千住に出ます、それから又土手を行くと熊谷に行きます』
馬『そんな遠方までは行かぬがこの冬枯の景色を見ながら土手を運動するは宜い心地だな、春になればこの櫻は花をつけ冬になれば枯てしまひ又来る春を待つ人の一生もこれと同じことだ全盛な時あれば又さびれる時もある、時期もよく見てこいつは枯れるところと思つたならば静に身を引いて一陽來復の春を待つやうにしてゐれば失策をするやうな事はないな、あゝ天地は宏大なものだそれに正直だな、春は花を咲かせ夏は青葉をつけ秋は實を結び冬は殺して置くこれが年々歳々少しも變らない、して見れば人間もこの天地のやうに正直にいたして居れば一生安泰だな』

文『これは驚いた、枯野見物旁々お説教をするとは恐れ入りました』
馬『イヤ、理窟を云つたわけではないが天地の事をするとその正直に感心するよ、ところで魚十にでも行つて一杯遣らうかな』
文『有難いことで、久しく魚十に行きませぬお供を致しませう』
これから向島の有名な魚

十と云ふ料亭に來ました女中の案内で川を前に見た座敷に通つた、酒肴を注文して女中の酌で盃を取つたが向ふには橋場と今戸又待乳山を見て佳い風景です

目丁二町平
三井タシク
番五八六話電

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
淋病 腸胃病 腸病
院醫科 村松
七〇一話電

木村 外科 醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九番

門 專
.....
婦 産 科 科
花 柳 病 科
.....
◎入院隨意
井坂 醫院
平町田町 電話五五九番

横濱植木會社の
春蒔き草花種子が
まいました
種子は輸出向きの優良質
植木會社の特撰品です
二丁目
西村藥局種子部
(草花種子の蒔き方)差上ます
球根、塊根類の御注文も御受けします

吸入用酸素 純度 99%
モノサシ 体温器
マ ス 寒暖計
ハカリ
●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
関内藥局
電話四〇番